

藤沢市民病院

# 健全経営推進計画 2027

令和6年度 取組状況について

2025年（令和7年）7月

藤沢市民病院



## 目 次

1	点検・評価の実施について .....	1
2	収支計画に対する決算の状況について .....	2
3	重点的な取組事項の評価一覧（総括） .....	4
4	数値目標の達成状況（総括） .....	6
5	総評と今後の課題・取組について .....	7

### 【付属資料】

資料 1	重点的な取組事項の実施状況 .....	9
1	役割・機能の最適化と連携の強化 .....	9
2	医師・看護師等医療スタッフの確保と働き方改革 .....	21
3	新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組 .....	24
4	施設・設備の最適化 .....	25
5	経営の効率化等 .....	27
資料 2	数値目標の達成状況 .....	29
	※ K P I 指標 .....	29
1	医療機能に係るもの .....	31
2	医療の質に係るもの .....	32
3	連携の強化等に係る数値目標 .....	33
4	収支改善に係るもの .....	33
5	収入確保に係るもの .....	34
6	経費削減に係るもの .....	36
7	経営の安定性に係るもの .....	38



# 1 点検・評価の実施について

藤沢市民病院健全経営推進計画では、令和6年度から令和9年度までの4年間で経営改善に取り組むこととし、各年度の取組状況については、決算時期に点検・評価を行うこととしています。今回令和6年度決算（見込）を踏まえ、点検・評価を実施いたしました。

## (1) 点検・評価方法

点検・評価は具体的な取組ごとに、次のとおり行いました。

数値目標がないものについては定性評価

数値目標があるものについては定量評価

### ■定性評価基準

評価	区分	備考
A	実施中	計画どおり実施・継続
B	一部実施中	取組の一部が遅延又は未実施
C	未実施	未実施
D	再検討	取組の見直し等
終	終了	取組の期間満了又は終了

### ■定量評価基準

評価	区分
s	対計画比が 110%以上
a	対計画比が 100%以上 110%未満
b	対計画比が 80%以上 100%未満
c	対計画比が 80%未満

対計画比(%) = 実績/計画 × 100

## (2) 点検・評価結果の公表について

点検・評価を行った結果については当院ホームページで公開します。

## 2 収支計画に対する決算の状況について

### (1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

款 項 目 節	令和5年度 実績 (A)	令和6年度				令和7年度 計画	令和8年度 計画	令和9年度 計画
		計画 (B)	実績 (C)	対計画値 (C)-(B)	対前年度 (C)-(A)			
病院事業収益	21,672,885	22,212,988	22,507,790	294,802	834,905	22,711,994	23,230,357	23,833,151
医業収益	19,458,144	20,092,908	20,363,616	270,708	905,472	20,598,637	21,132,548	21,755,048
入院収益	13,172,016	13,792,926	13,867,184	74,258	695,168	14,255,673	14,746,584	15,251,220
外来収益	5,835,064	5,885,217	6,057,293	172,076	222,229	5,919,513	5,953,615	6,062,364
その他医業収益	451,064	414,765	439,139	24,374	▲ 11,925	423,451	432,349	441,464
医業外収益	2,209,763	2,115,176	2,131,057	15,881	▲ 78,706	2,108,069	2,092,135	2,072,038
受取利息配当金	2,160	2,608	3,025	417	865	1,400	1,300	1,200
補助金	253,762	101,431	93,861	▲ 7,570	▲ 159,901	101,431	101,431	101,431
他会計負担金	1,487,418	1,592,166	1,592,166	0	104,748	1,592,166	1,592,166	1,592,166
他会計補助金	4,030	0	0	0	▲ 4,030	0	0	0
長期前受金戻入	299,024	298,371	298,604	233	▲ 420	292,396	276,487	256,414
その他医業外収益	163,369	120,600	143,401	22,801	▲ 19,968	120,676	120,751	120,827
特別利益	4,978	4,904	13,117	8,213	8,139	5,288	5,674	6,065
病院事業費用	22,290,081	23,398,921	23,596,625	197,704	1,306,544	23,708,256	23,923,686	24,139,290
医業費用	21,066,103	22,107,269	22,218,455	111,186	1,152,352	22,565,260	22,771,144	22,975,348
給与費	10,729,486	11,615,068	11,504,482	▲ 110,586	774,996	11,851,975	11,985,993	12,121,578
材料費	5,316,012	5,348,711	5,765,212	416,501	449,200	5,444,697	5,539,182	5,633,667
経費	3,568,797	3,723,364	3,549,697	▲ 173,667	▲ 19,100	3,736,998	3,773,661	3,796,855
委託料	2,381,002	2,415,774	2,369,848	▲ 45,926	▲ 11,154	2,420,605	2,425,446	2,430,297
減価償却費	1,383,403	1,334,425	1,329,722	▲ 4,703	▲ 53,681	1,445,851	1,386,532	1,337,434
資産減耗費	21,327	16,500	16,324	▲ 176	▲ 5,003	16,500	16,500	16,500
研究研修費	47,078	69,201	53,018	▲ 16,183	5,940	69,239	69,276	69,314
医業外費用	1,025,702	1,133,905	1,180,241	46,336	154,539	987,996	997,542	1,008,942
特別損失	198,276	157,747	197,929	40,182	▲ 347	155,000	155,000	155,000
医業損益	▲ 1,607,959	▲ 2,014,361	▲ 1,854,839	159,522	▲ 246,880	▲ 1,966,623	▲ 1,638,596	▲ 1,220,300
経常損益	▲ 423,898	▲ 1,033,090	▲ 904,023	129,067	▲ 480,125	▲ 846,550	▲ 544,003	▲ 157,204
純損益	▲ 617,196	▲ 1,185,933	▲ 1,088,835	97,098	▲ 471,639	▲ 996,262	▲ 693,329	▲ 306,139

(注) 消費税及び地方消費税抜処理により作成

### (2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

款 項 目 節	令和5年度 実績 (A)	令和6年度				令和7年度 計画	令和8年度 計画	令和9年度 計画
		計画 (B)	実績 (C)	対計画値 (C)-(B)	対前年度 (C)-(A)			
資本的収入	803,028	1,663,307	1,255,507	▲ 407,800	452,479	686,490	686,877	687,268
企業債	605,300	1,465,200	1,057,400	▲ 407,800	452,100	488,000	488,000	488,000
一般会計負担金	197,728	198,107	198,107	0	379	198,490	198,877	199,268
資本的支出	1,799,291	3,753,518	3,157,478	▲ 596,040	1,358,187	1,592,078	1,905,381	2,092,701
建設改良費	1,069,864	2,741,924	2,245,884	▲ 496,040	1,176,020	828,156	825,618	893,710
施設整備費	123,685	853,395	804,426	▲ 48,969	680,741	186,725	186,725	236,610
委託料	123,685	853,395	782,701	▲ 70,694	659,016	186,725	186,725	236,610
工事請負費	0	0	21,725	21,725	21,725	0	0	0
固定資産購入費	946,179	1,888,529	1,441,458	▲ 447,071	495,279	641,431	638,893	657,100
医療器械等購入費	771,478	1,783,406	1,336,339	▲ 447,067	564,861	610,000	610,000	610,000
リース資産購入費	174,701	105,123	105,119	▲ 4	▲ 69,582	31,431	28,893	47,100
投資有価証券購入費	0	300,000	200,000	▲ 100,000	200,000	0	0	0
企業債償還金	729,427	711,594	711,594	0	▲ 17,833	763,922	1,079,763	1,198,991

(3) 現金保有残高・企業債残高

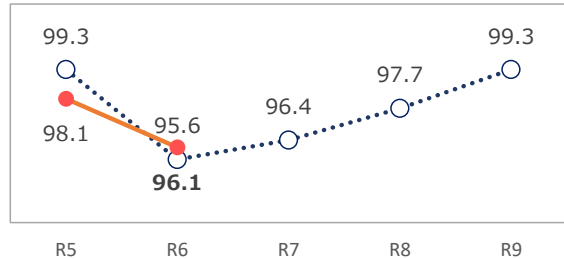
(単位：千円)

款 項 目 節	令和5年度	令和6年度				令和7年度	令和8年度	令和9年度
	実績 (A)	計画 (B)	実績 (C)	対計画値 (C)-(B)	対前年度 (C)-(A)	計画	計画	計画
現金保有残高	7,935,541	5,676,855	6,107,971	431,116	▲ 1,827,570	5,313,858	5,036,569	4,927,190
企業債残高	10,858,442	11,736,175	11,204,248	▲ 531,927	345,806	11,460,253	10,868,490	10,157,499

1 経常収支比率

(単位：%)

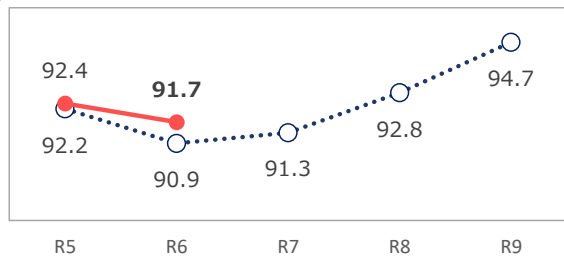
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	99.3	95.6	96.4	97.7	99.3	▲ 2.0pt
実績	98.1	96.1				
対計画比 評価		100.5% a				



2 修正医業収支比率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	92.2	90.9	91.3	92.8	94.7	▲ 0.7pt
実績	92.4	91.7				
対計画比 評価		100.9% a				



【指標】

$$1 \text{ 経常収支比率} = \frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$$

医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標

$$2 \text{ 修正医業収支比率} = \frac{(\text{医業収益} - \text{一般会計負担金})}{\text{医業費用}} \times 100$$

病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標

【実績】

- 医業収益については、入院延患者数及び病床稼働率の増加に伴う入院収益の増加などにより、計画値を2億7,070万8千円上回り、前年度実績についても9億547万2千円上回りました。一方、医業費用については、計画値を1億1,118万6千円上回りましたが、人事院勧告に伴う給与費改定や定数増などによる給与費の増のほか、原材料費やエネルギー価格の高騰に伴う材料費の増加などにより、前年度実績を11億5,235万2千円上回りました。
- 医業損益については、18億5,483万9千円の赤字となり、計画値を1億5,952万2千円上回った結果、修正医業収支比率は91.7%となり、計画値を0.8ポイント上回りました。
- 経常損益については、医業費用の増加に加え、電子カルテシステムハードウェアや端末等の更新、西館8階の配管改修工事等の資本的支出が増加したことで、雑損失が増加しましたが、医業収益が増加したことにより9億402万3千円の赤字となり、計画値を1億2,906万7千円上回りました。その結果、経常収支比率は96.1%となり、計画値を0.5ポイント上回りました。
- 計画値に対する実績については、経常収支比率・修正医業収支比率ともに計画値を上回ったものの、対前年度実績においては経常収支比率は2.0ポイント、修正医業収支比率は0.7ポイント下回りました。

【課題や今後の取組等】

- 入院延患者数の増加や病床稼働率の上昇などにより、医業収益は増加傾向にあります。令和7年度以降も収益の増加以上に、人件費や原材料・エネルギー価格の高騰による支出の増加が見込まれます。
- 西館等再整備事業に伴う更なる支出の増加が見込まれることから、引き続き収益確保の取組を進める一方で、委託料をはじめとした費用削減に取り組み、健全経営を推進してまいります。

### 3 重点的な取組事項の評価一覧（総括）

標記	定性評価	定量評価
➡	: A (実施中)	対計画比が 100%以上
➡	: B (一部実施中)	対計画比が 80%以上 100%未満
—	: C (未実施)	対計画比が 80%未満
□	: D (再検討)	
終	: 終了	

重点的な取組事項	評価方法	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
1 役割・機能の最適化と連携の強化					
(1) 地域医療高騰を踏まえた当院の果たすべき役割					
ア がん医療の推進	(定性)	➡			
1 キャンサーボードの強化		➡			
2 外来化学療法の体制強化		➡			
3 がん相談支援センターの機能・体制の拡充		➡			
4 日帰り生検などの実施		—			
5 ロボット手術の更なる拡大		➡			
6 神奈川県立がんセンターへのスムーズな紹介体制の構築		➡			
イ 救急医療の推進	(定性)	➡			
1 時間外における入院患者受入れのあり方の検討		➡			
2 本院ICUの管理方法の見直し		—			
3 高齢者施設や在宅の高齢者の緊急入院及び連携施設への転院体制の検討		➡			
ウ 病床数の見直し	(定性)	➡			
エ その他	(定性)	➡			
1 ゲノム診療体制の充実		➡			
2 日帰り手術及びIVRの導入の検討		➡			
3 病棟総合医の育成の検討		□			
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能					
ア 在宅医療への部分的介入の検討	(定性)	➡			
(3) 機能分化・連携強化					
ア 医療DXに基づくシステムネットワークのさらなる拡大	(定性)	➡			
1 医療DXに基づくシステムネットワークのさらなる拡大		➡			
2 新規紹介患者の速やかな受入及び逆紹介の推進		➡			
3 P H R の利活用の検討		➡			
4 インターネットを活用した地域施設及び患者さんへの情報発信の強化		➡			
(4) 住民の理解促進のための取組					
ア 住民の理解促進のための取組	(定性)	➡			
1 ホームページ		➡			
2 市民公開講座		➡			
3 広報誌		➡			
4 患者満足度アンケート調査患者ご意見箱		➡			
5 各種イベントの開催		➡			

重点的な取組事項	評価方法	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
2 医師・看護師等医療スタッフの確保と働き方改革					
(1) 医師・看護師等医療スタッフの確保	(定性)	↗			
1 大学医局との連携強化及び良好な関係の維持		↗			
2 積極的な学生実習の受入れ		↗			
3 特定看護師の育成と活用		↗			
4 勤務環境の整備		↗			
(2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保	(定性)	↗			
1 初期臨床研修を修了した若手医師などを対象とした各種専門研修の実施		↗			
2 シミュレーションセンターの整備		終			
(3) 医師・看護師等医療スタッフの働き方改革への対応	(定性)	→			
1 タスクシフトによる業務の見直しやチーム医療の推進		↗			
2 医師事務作業補助員等の配置強化に向けた採用形態と育成体制の構築		↗			
3 勤怠システムの適切な運用		→			
4 勤務時間の検討		→			
5 勤務時間外業務の見直し		→			
3 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組					
(1) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組	(定性)	↗			
1 B C P（業務継続計画）の見直し		↗			
2 医療機器や施設の整備等		↗			
3 地域の医療機関との連携		↗			
4 専門人材の確保及び育成		↗			
4 施設・設備の最適化					
(1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制	(定性)	↗			
1 西館・救命救急センター等の建替えに向けた取組		↗			
2 高額医療器械の更新計画に基づく購入		↗			
(2) デジタル化への対応	(定性)	↗			
1 電子カルテシステムの更新に向けた取組		↗			
2 各種システムの導入・更新に向けた取組		↗			
3 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進		→			
4 情報セキュリティ対策の推進		↗			
5 経営の効率化等					
(1) 目標達成に向けた具体的な取組					
ア 費用の縮減	(定量)	↗			
イ 組織改正及び定数の見直し	(定量)	↗			
ウ 診療報酬の確保	(定量)	↗			

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
A ↗	43			
B →	11			
C -	2			
D □	1			
終	1			
合計	58			

# 4 数値目標の達成状況（総括）

No.	具体的な取組事項	単位	令和5年度	令和6年度		対計画値 増減数 (C)-(B)	対前年度 増減数 (C)-(A)	令和7年度	令和8年度	令和9年度		
			実績 (A)	計画 (B)	実績 (C)			対計画比 (%)	計画	計画	計画	
<b>KPI指標</b>												
1	新入院患者数	人	16,045	16,350	16,000	97.9	b	▲ 350	▲ 45	16,660	16,970	17,290
2	病床稼働率	%	81.2	85.4	85.4	100.0	a	0.0	4.2	83.6	85.1	86.4
3	平均在院日数	日	9.9	9.9	10.4	94.9	b	0.5	0.5	9.8	9.8	9.8
4	入院患者1人1日当たり診療収入	円	82,661	85,110	83,042	97.6	b	▲ 2,068	381	87,180	88,600	90,000
5	修正医業収支比率	%	92.4	90.9	91.7	100.9	a	0.8	▲ 0.7	91.3	92.8	94.7
6	修正給与費等負荷率	%	92.7	95.2	95.0	100.2	a	▲ 0.2	2.3	94.2	92.4	90.3
<b>医療機能に係るもの</b>												
7	手術件数	件	5,763	6,000	5,740	95.7	b	▲ 260	▲ 23	6,141	6,282	6,424
8	救急車搬送受入患者数	人	10,914	10,000	10,313	103.1	a	313	▲ 601	10,200	10,400	10,600
9	分娩件数	件	521	550	481	87.5	b	▲ 69	▲ 40	550	550	550
<b>医療の質に係るもの</b>												
10	入院患者満足度総合評価	%	92.1	90.0	91.8	102.0	a	1.8	▲ 0.3	90.0	90.0	90.0
11	外来患者満足度総合評価	%	82.8	82.0	78.9	96.2	b	▲ 3.1	▲ 3.9	83.0	84.0	85.0
12	D P C 特定病院群の「設定要件」 充足項目数（3cを除く8項目）		8/8	-	-	-	-	-	-	8/8	-	8/8
<b>連携の強化等に係るもの</b>												
13	紹介患者数	人	22,456	22,250	22,567	101.4	a	317	111	22,500	22,750	23,000
14	逆紹介患者数	人	18,664	19,030	19,103	100.4	a	73	439	19,350	19,670	20,000
<b>収支改善に係るもの</b>												
15	経常収支比率	%	98.1	95.6	96.1	100.5	a	0.5	▲ 2.0	96.4	97.7	99.3
*	修正医業収支比率	%	92.4	90.9	91.7	100.9	a	0.8	▲ 0.7	91.3	92.8	94.7
<b>収入確保に係るもの</b>												
*	新入院患者数		16,045	16,350	16,000	97.9	b	▲ 350	▲ 45	16,660	16,970	17,290
16	1日当たり入院患者数	人	435	444	458	103.2	a	14	23	448	456	463
17	1日当たり外来患者数	人	1,237	1,242	1,211	97.5	b	▲ 31	▲ 26	1,248	1,254	1,260
*	入院患者1人1日当たり診療収入	円	82,661	85,110	83,042	97.6	b	▲ 2,068	381	87,180	88,600	90,000
18	外来患者1人1日当たり診療収入	円	19,415	19,500	20,585	105.6	a	1,085	1,170	19,600	19,700	19,800
*	病床稼働率	%	81.2	82.8	85.4	103.1	a	2.6	4.2	83.6	85.1	86.4
*	平均在院日数		9.9	9.9	10.4	94.9	b	0.5	0.5	9.8	9.8	9.8
<b>経費削減に係るもの</b>												
*	修正給与費等負荷率	%		95.2	95.0	100.2	a	▲ 0.2	95.0	94.2	92.4	90.3
19	職員給与費対医業収益比率	%	55.1	57.8	56.5	102.2	a	▲ 1.3	1.4	57.5	56.7	55.7
20	材料費対医業収益比率	%	27.3	26.6	28.3	93.6	b	1.7	1.0	26.4	26.2	25.9
21	経費対医業収益比率	%	18.3	18.5	17.4	105.9	a	▲ 1.1	▲ 0.9	18.1	17.9	17.5
22	委託費対医業収益比率	%	12.2	12.0	11.6	103.3	a	▲ 0.4	▲ 0.6	11.8	11.5	11.2
23	減価償却費対医業収益比率	%	7.1	6.6	6.5	101.5	a	▲ 0.1	▲ 0.6	7.0	6.6	6.1
<b>経営の安定性に係るもの</b>												
24	現金保有残高	百万円	7,936	5,677	6,108	107.6	a	431	▲ 1,828	5,314	5,037	4,927
25	企業債残高	百万円	10,859	11,736	11,204	104.5	a	▲ 532	345	11,460	10,868	10,157

※ \*は再掲

※ No. 3、6、20～23、25 は数値が小さいほうが高評価

s 0

a 16

b 8

c 0

- 1

合計 25（再掲は除く）

■定量評価基準

評価	区分
s	対計画比が 110%以上
a	対計画比が 100%以上 110%未満
b	対計画比が 80%以上 100%未満
c	対計画比が 80%未満

対計画比(%) = 実績/計画 × 100

## 5 総評と今後の課題・取組について

---

令和6年度は、「藤沢市民病院健全経営推進計画2027」の4か年計画における1年目にあたります。病院事業の経営強化に取り組むために掲げた3つの目指す方向性「市民へのより良い医療の提供」「業務運営の改善と効率化」「収支改善と持続可能な経営の確保」に基づき、様々な取組を進めました。

令和6年度の収支計画に対する決算状況について、収益的収支における収入は、主に入院・外来収益が増加したことなどから計画値を上回りました。一方で、支出は診療材料費・薬品費等の材料費が大幅に増加しましたが、給与費・経費は計画値を下回りました。その結果、経常収益の増が経常費用の増を上回り、経常損失は計画値に対して1億2,906万7千円下回る9億402万3千円となりましたが、前年度との比較では4億8,012万5千円悪化しました。

資本的収支は、西館等再整備事業の基本計画策定を令和7年度に移行したことや入札の執行残などにより、計画値に対して支出は5億9,604万円、収入は4億780万円下回りました。なお、現金保有残高については、計画値を4億3,111万6千円上回りましたが、前年度と比較して18億2,757万円減少しております。

このように、令和6年度の収支状況は計画値を上回っているものの、財務状況は依然厳しい状況が継続しており、さらに物価高騰などの経済情勢や人口減少や少子高齢化に伴う急激な医療需要の変化、医療資源の不足等に対応していかなければなりません。また、老朽化が進む西館等再整備事業が令和7年度以降に本格化するため、資金確保が喫緊の課題となっております。

引き続き収支改善の取組として、患者確保に努め、委託料をはじめとした費用削減を推進するなど収益確保及び費用削減に向けた取組を継続するとともに、施設・設備の適正管理と整備費の抑制を図り、将来にわたり持続可能な病院経営が行えるよう経営強化に努めてまいります。



# 資料 1

## 重点的な取組事項の実施状況

### 1 役割・機能の最適化と連携の強化

#### (1) 地域医療高騰を踏まえた当院の果たすべき役割

ア がん医療の推進 (定性)		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		B			
取組内容 (総括)	がん患者さんに対する標準的な治療（手術、化学療法、放射線治療）の体制充実をはじめ、適切ながん指導や相談・ケア体制の強化を進めております。また、がん診療の専門的な研修を修了したスタッフの育成等、継続的ながん診療・指導・ケアが提供できる体制の構築を検討してまいります。				

#### (ア) がんトータルケア体制の充実

評価	<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> <td>令和8年度</td> <td>令和9年度</td> </tr> <tr> <td>1 キャンサーボードの強化</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 外来化学療法の体制強化</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 がん相談支援センターの機能・体制の拡充</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 キャンサーボードの強化	A				2 外来化学療法の体制強化	A				3 がん相談支援センターの機能・体制の拡充	A											
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																												
	1 キャンサーボードの強化	A																															
	2 外来化学療法の体制強化	A																															
3 がん相談支援センターの機能・体制の拡充	A																																
点検・評価	<p><b>1 キャンサーボードの強化</b></p> <p>○ キャンサーボード（がん疾患カンファレンス）の実施体系として、全体（がん遺伝子パネル検査、臓器横断症例等）・臓器別（肺がん、乳がん等）・各診療科の日常的なカンファレンスに分かれて実施しております。令和6年度は「骨転移がん相談支援センター」を新たに組み入れ、多職種による定期的な症例検討を行うようにいたしました。</p> <p><b>2 外来化学療法の体制強化</b></p> <p>○ 令和6年度の外来化学療法の実施件数は7,091件で、前年度と比較して60件減少しました。多様化する抗悪性腫瘍剤に適切に対応できるよう薬剤師による指導の充実やがん専門研修修了スタッフの育成を進めてまいります。</p> <p><b>3 がん相談支援センターの機能・体制の拡充</b></p> <p>○ がん相談支援センターと緩和ケアセンターの一部業務を統合するなど業務連携体制を強化し、がん患者さんが相談しやすい環境づくりや指導・ケアの充実に努めております。</p>																																
数値・指標	<p><b>1 キャンサーボード実施回数</b></p> <p style="text-align: right;">(単位:件)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>対前年増減数</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">全体</td> <td>開催数</td> <td>9</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>▲ 1</td> </tr> <tr> <td>検討症例数</td> <td>10</td> <td>35</td> <td>46</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">骨転移</td> <td>開催数</td> <td>—</td> <td>5</td> <td>11</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>検討症例数</td> <td>—</td> <td>22</td> <td>47</td> <td>25</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">※2024年年度(令和6年度)から本格運用開始</p>							令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数	全体	開催数	9	18	17	▲ 1	検討症例数	10	35	46	11	骨転移	開催数	—	5	11	6	検討症例数	—	22	47	25
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数																												
全体	開催数	9	18	17	▲ 1																												
	検討症例数	10	35	46	11																												
骨転移	開催数	—	5	11	6																												
	検討症例数	—	22	47	25																												

<b>2 外来化学療法治療件数</b> (単位:人)				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数
延患者数	7,058	7,151	7,091	▲ 60
<b>3 ピアサポート支援件数、がんサロン実績、ウィッグ相談会開催件数など</b> (単位:人)				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数
がん相談利用者数	1,942	1,468	1,233	▲ 235
ピアサポート利用者数	33	47	71	24
がんサロン利用者数	36	84	94	10
お仕事相談利用者数	5	4	2	▲ 2
<b>4 がん患者指導管理料算定件数</b> (単位:件)				
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数
がん患者指導管理料イ	321	375	410	35
がん患者指導管理料ロ	275	145	521	376

(イ) 診断から短期間での治療開始が可能な体制の確保

評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 日帰り生検などの実施</td> <td>C</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 ロボット手術の更なる拡大</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 日帰り生検などの実施	C				2 ロボット手術の更なる拡大	A																		
項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																											
1 日帰り生検などの実施	C																														
2 ロボット手術の更なる拡大	A																														
取組・実績	<p><b>1 日帰り生検などの実施</b></p> <p>○ 現状では安全面等を考慮し、短期入院での実施に努めております。今後、実施に適した疾患の精査を進め、運用体制の検討を行ってまいります。</p> <p><b>2 ロボット手術の更なる拡大</b></p> <p>○ 令和6年度の手術支援ロボットによる手術実績は166症例で、前年度と比較して26症例増加し、新たな手技として、ロボット支援による胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術を実施いたしました。近隣医療機関においても手術支援ロボットの導入が進んでおり、症例件数の確保に努めてまいります。</p>																														
指標等	<p><b>1 診療科別ダビンチ件数 (ホギ 手術統計より)</b> (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>対前年 増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>86</td> <td>67</td> <td>80</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>消化器外科</td> <td>27</td> <td>41</td> <td>52</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>婦人科</td> <td>42</td> <td>32</td> <td>33</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>呼吸器外科</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>皆増</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>155</td> <td>140</td> <td>166</td> <td>26</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数	泌尿器科	86	67	80	13	消化器外科	27	41	52	11	婦人科	42	32	33	1	呼吸器外科	—	—	1	皆増	合計	155	140	166	26
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数																											
泌尿器科	86	67	80	13																											
消化器外科	27	41	52	11																											
婦人科	42	32	33	1																											
呼吸器外科	—	—	1	皆増																											
合計	155	140	166	26																											

(ウ) 神奈川県立がんセンターとの連携強化

評価	<table border="1"><thead><tr><th>項目</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th><th>令和8年度</th><th>令和9年度</th></tr></thead><tbody><tr><td>1 神奈川県立がんセンターへのスムーズな紹介体制の構築</td><td>A</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 神奈川県立がんセンターへのスムーズな紹介体制の構築	A			
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度						
1 神奈川県立がんセンターへのスムーズな紹介体制の構築	A										
取組・実績	<p><b>1 日帰り生検などの実施</b></p> <p>○ 患者さんが切れ目なく適切ながん治療が受けられるよう、がんセンター等との診療連携に努めております。特に、がん遺伝子パネル検査の実施においては、検査出検前やエキスパートパネルの実施後に、必要に応じてがんセンターへの症例相談が行える体制を構築しており、患者さんの状態に適したタイミングで検査が実施できるよう努めております。</p>										

<b>イ 救急医療の推進</b>	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	<b>B</b>			
取組内容 (総括)	高齢患者さんの増加に伴う緊急入院の需要増に対応できるよう、救急病棟と一般病棟の病床運営のあり方や適切なタイミングで転院搬送が行えるよう地域医療機関との連携強化に努めております。			

評価	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	1 時間外における入院患者受入れのあり方の検討	<b>B</b>			
	2 本院ICUの管理方法の見直し	<b>C</b>			
	3 高齢者施設や在宅の高齢者の緊急入院及び連携施設への転院体制の検討	<b>A</b>			

取組・実績	<b>1 時間外における入院患者受入れのあり方の検討</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>緊急入院、病床運用の在り方の検討</u> 緊急入院患者さんのスムーズな受入や適切なタイミングでの転棟が行えるよう運用の検討及び時間外における一般病棟の受入体制の検討を進めてまいります。その準備の一環として、病床（主たる診療科）の再編成を2025年（令和7年）3月に実施いたしました。</li> </ul>
	<b>2 本院ICUの管理方法の見直し</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和6年度の診療報酬改定において新設された「特定集中治療室遠隔支加算（遠隔ICU）」について、運用体制や導入状況、費用等を含め情報収集を進めるとともに、より安全性を追求した本院ICUの管理体制及び本院HCU（ハイケアユニット）の設置について、中期的に検討してまいります。</li> </ul>
	<b>3 高齢者施設や在宅の高齢者の緊急入院及び連携施設への転院体制の検討</b>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者に多い誤嚥性肺炎や尿路感染症などの患者さんを中心に、当院受診後、適切なタイミングで転院が行えるよう地域医療機関との連携調整を図り、令和6年度の診療報酬改定において新設された「救急患者連携搬送料」の届出を行い、運用を開始いたしました。</li> </ul>

数値・指標	<b>1 救命救急入院料の延算定件数</b>	(単位:人)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数
	救命救急入院料1	5,003	5,531	6,244	713
	救命救急入院料4	1,436	1,479	1,575	96
	<b>2 救急患者連携搬送診療料の算定件数</b>	(単位:件)			
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数
	救急患者連携搬送診療料	—	—	4	皆増
※2025年(令和7年)1月から開始					

<b>ウ 病床数の見直し</b>		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		<b>B</b>			
取組内容 (総括)	コロナ禍前と比較し、病床稼働率は同水準まで戻っていないことから、中期的視点に立って、病床数や病床機能のあり方について検討を行ってまいります。				

評価	<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> <td>令和8年度</td> <td>令和9年度</td> </tr> <tr> <td>1 地域医療構想を踏まえた機能ごとの病床数及び病床機能の見直し</td> <td><b>B</b></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 地域医療構想を踏まえた機能ごとの病床数及び病床機能の見直し	<b>B</b>			
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度										
1 地域医療構想を踏まえた機能ごとの病床数及び病床機能の見直し	<b>B</b>														
取組・実績	<p><b>1 地域医療構想を踏まえた機能ごとの病床数及び病床機能の見直し</b></p> <p>○ 病院全体の病床稼働率は、令和5年度は81.2%、令和6年度は85.4%と増加しておりますが、コロナ禍前（平成30年度）の88.9%の水準には戻っておりません。入院患者さんの確保に努めるとともに、地域医療構想調整会議における病床数や病床機能の検討内容、診療報酬や患者需要の動向等を踏まえ、必要な病床のあり方について検討してまいります。</p>														
数値・指標	<p><b>1 病床稼働率推移</b> (単位:%)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>対前年増減数</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>77.2</td> <td>81.2</td> <td>85.4</td> <td>4.2</td> </tr> </table>						令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数	病床稼働率	77.2	81.2	85.4	4.2
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数											
病床稼働率	77.2	81.2	85.4	4.2											

エ その他	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	B			
取組内容 (総括)	今後、更なる需要の増加が見込まれるゲノム診療や日帰り手術について、運用を整備し段階的に実施拡大を行っております。また、複合的な疾患や生活背景が複雑な患者さんに柔軟に対応できる体制整備を進めてまいります。			

(ア) ゲノム医療の推進

評価	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																														
	1 ゲノム診療体制の充実	A																																	
取組・実績	<p><b>1 ゲノム診療体制の充実</b></p> <p>○ 従来実施しておりました、がん遺伝子パネル検査や自費診療の出生前診断検査に加え、令和6年度は自費検査である「リンチ症候群検査」や未発症血縁者に対する「BRCAシングルサイト検査」の実施を開始いたしました。対象患者さんには検査前後での臨床遺伝専門医によるカウンセリングを行い、適切な検査の実施に努めております。また、2025年（令和7年）3月に保険適用となりました「造血器腫瘍に対するがん遺伝子パネル検査」についても運用の検討を進めてまいります。</p>																																		
数値・指標	<p><b>1 ゲノム検査（エキスパートパネル件数）</b></p> <p style="text-align: right;">（単位：件）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>対前年 増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん遺伝子パネル検査</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>遺伝カウンセリング加算件数</td> <td>53</td> <td>44</td> <td>54</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>出生前診断検査件数</td> <td>30</td> <td>83</td> <td>83</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>BRCAシングルサイト検査件数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2</td> <td>皆増</td> </tr> <tr> <td>リンチ症候群検査件数</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>皆増</td> </tr> </tbody> </table>						令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数	がん遺伝子パネル検査	28	28	29	1	遺伝カウンセリング加算件数	53	44	54	10	出生前診断検査件数	30	83	83	0	BRCAシングルサイト検査件数	—	—	2	皆増	リンチ症候群検査件数	—	—	1	皆増
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数																															
がん遺伝子パネル検査	28	28	29	1																															
遺伝カウンセリング加算件数	53	44	54	10																															
出生前診断検査件数	30	83	83	0																															
BRCAシングルサイト検査件数	—	—	2	皆増																															
リンチ症候群検査件数	—	—	1	皆増																															

(イ) 低侵襲性治療の拡充

評価	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> <tr> <td>1 日帰り手術及びIVRの導入の検討</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 日帰り手術及びIVRの導入の検討	A																																											
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																																														
1 日帰り手術及びIVRの導入の検討	A																																																		
取組・実績	<p><b>1 日帰り手術及びIVRの導入の検討</b></p> <p>○ 従来実施している形成外科・消化器内科に加え、日帰り手術の要望が高かった診療科について運用調整を行い、新たに乳腺外科、整形外科、眼科、腎臓内科、耳鼻咽喉科、放射線診断科において日帰り手術やIVRの運用体制を構築しました。患者さんの状態等に応じて、入院加療か外来日帰り手術かの適応を判断し、実施に努めております。合わせて対象疾患における短期滞在手術等基本料の届出を行いました。</p>																																																		
数値・指標	<p><b>1 短期滞在手術等基本料1の算定件数</b></p> <p>(単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>対前年増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>消化器内科</td> <td>203</td> <td>441</td> <td>488</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>形成外科</td> <td>16</td> <td>62</td> <td>50</td> <td>▲12</td> </tr> <tr> <td>眼科</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>腎臓内科</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>乳腺外科</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>219</td> <td>503</td> <td>551</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 日帰りIVR件数</b></p> <p>(単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>対前年増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>145</td> <td>172</td> <td>169</td> <td>▲3</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数	消化器内科	203	441	488	47	形成外科	16	62	50	▲12	眼科	—	0	8	8	腎臓内科	—	0	5	5	整形外科	—	0	4	4	乳腺外科	—	0	2	2	合計	219	503	551	48		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数	算定件数	145	172	169	▲3
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数																																															
消化器内科	203	441	488	47																																															
形成外科	16	62	50	▲12																																															
眼科	—	0	8	8																																															
腎臓内科	—	0	5	5																																															
整形外科	—	0	4	4																																															
乳腺外科	—	0	2	2																																															
合計	219	503	551	48																																															
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数																																															
算定件数	145	172	169	▲3																																															

(ウ) 病棟総合医の育成の検討

評価	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> <tr> <td>1 病棟総合医の育成の検討</td> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 病棟総合医の育成の検討	D			
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度						
1 病棟総合医の育成の検討	D										
取組・実績	<p><b>1 病棟総合医の育成の検討</b></p> <p>○ 令和6年度においては具体的検討には至っていませんが、複合的な疾患や生活背景が複雑な患者さんの増加も見込まれることから、各専門診療科の体制などを踏まえ、効率的な病棟運営に向けて、当院における病棟総合医のあり方等について検討を行ってまいります。</p>										

(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能

ア 在宅医療への部分的介入の検討		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	高齢化が進み、退院後の在宅での療養に不安を抱える患者さんも多くなってくることから、適切に在宅医療（訪問看護、介護医療等）につなげられるよう、退院直前・直後における在宅指導を開始しました。				

評価	<table border="1"> <tr> <td>項目</td> <td>令和6年度</td> <td>令和7年度</td> <td>令和8年度</td> <td>令和9年度</td> </tr> <tr> <td>1 在宅医療への部分的介入の検討</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 在宅医療への部分的介入の検討	A			
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度										
1 在宅医療への部分的介入の検討	A														
取組内容	<b>1 在宅医療への部分的介入の検討</b> ○ 退院の際に緩和ケアセンターの看護師が患家に訪問し、患者の病状、患家の家屋構造、介護力等を考慮しながら、退院後に在宅で療養上必要と考えられる指導を行う体制を整備し、運用を開始しました。														
数値・指標	<b>1 退院前訪問指導料算定件数</b> (単位:件) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>令和4年度</td> <td>令和5年度</td> <td>令和6年度</td> <td>対前年増減数</td> </tr> <tr> <td>算定件数</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>5</td> </tr> </table>						令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数	算定件数	0	2	7	5
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年増減数											
算定件数	0	2	7	5											

(3) 機能分化・連携強化

ア 医療DXに基づくシステムネットワークのさらなる拡大	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A			
取組内容 (総括)	近年は少子高齢化が進行し、医療需要が拡大する一方で、医療人員不足は今後さらに深刻化する見込みとなります。今まで以上に少ない人的リソースで、多くの高齢患者を支えなくてはならないことから、患者さんの利便性向上と医療職の業務効率化を図るためのシステム導入について検討いたしました。			

評価	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	1 医療DXに基づくシステムネットワークのさらなる拡大	A			
	2 新規紹介患者の速やかな受入及び逆紹介の推進	A			
	3 P H R の利活用の検討	B			
	4 インターネットを活用した地域施設及び患者さんへの情報発信の強化	A			

取組内容	<p><b>1 医療DXに基づくシステムネットワークのさらなる拡大</b></p> <p>○ 令和3年度に導入した医療介護連携クラウドシステム「つながるネット」について、湘南東部二次保健医療圏における病院から在宅療養、さらに介護までのシステム構築を進め、68施設にまで拡大いたしました。</p> <p><b>2 新規紹介患者の速やかな受入及び逆紹介の推進</b></p> <p>○ 新規患者紹介時の診療予約のオンライン化について、システムの機能や特徴などについて情報収集を行い、導入に向けた検討を進めております。</p> <p>○ <u>地域の医療機関の訪問</u></p> <p>各医療機関からの紹介状況を精査し、診療科を選定した上で地域医療機関への訪問活動の数を増強いたしました。令和6年度下半期においては、循環器内科・整形外科領域の地域医療機関訪問を重点的に行い、今後も対象診療科を拡大しながら、日常的な連携活動を継続してまいります。</p> <p><b>3 P H R の利活用の検討</b></p> <p>○ 国（厚生労働省）が進める「医療DX令和ビジョン2030（電子処方箋、電子カルテ情報共有サービス等）」や全国の各地域ごとに運用されている「クラウド型地域医療連携システム」などの動向を注視するとともに、導入に必要なコスト等の情報収集を行い、適切なタイミングで運用開始が行えるよう検討を進めてまいります。</p> <p><b>4 インターネットを活用した地域施設及び患者さんへの情報発信の強化</b></p> <p>○ 当院からのメール配信を許可していただいた連携登録医には、定期的に情報発信を行っております。また、2025年（令和7年）3月に藤沢市公式LINEに藤沢市民病院のメニューを追加し、患者さんや市民への情報発信を広く行える体制を整備しました。</p>
------	--

数値・指標

**1 つながるネット利用施設数**

(単位:件)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
病院	14 (14)	14 (14)	26 (24)	31 (24)
介護施設(老健・特養)	-	-	10 (9)	13 (12)
診療所	-	-	21 (21)	24 (24)
合計	14 (14)	14 (14)	57 (54)	68 (60)

( )内の数字は湘南東部二次医療圏(藤沢・茅ヶ崎・寒川)の機関数

**2 連携先訪問件数**

(単位:件)

	令和6年度
循環器内科	66
整形外科	47

(4) 住民の理解促進のための取組

住民の理解促進のための取組		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	ホームページにおいて診療科やチーム医療等の内容の充実に努めるとともに、お知らせや看護部ブログ等タイムリーな情報発信に努めました。今後は掲載内容の充実を図るとともに、見やすさ、操作性なども考慮し、利便性の向上を検討していきます。その他市民公開講座の開催や広報誌の発行など市民に向けた情報の発信に努めました。				

評価	項目				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	1 ホームページ	A			
	2 市民公開講座	A			
	3 広報誌	A			
	4 患者満足度アンケート調査患者ご意見箱	A			
	5 各種イベント	A			
取組内容	<p><b>1 ホームページ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ホームページについては適時、内容を更新し、最新の情報の掲載に努めました。</li> <li>○ <u>藤沢市公式LINEの活用</u> 2025年（令和7年）3月に、藤沢市公式LINEに市民病院のメニューを追加しました。メニューに当院のホームページのリンクを設定することで当院のホームページへのアクセスが容易となり、訪問数・リピート率の向上が期待されるため、LINEとホームページ双方で定期的な情報発信と更新に努めてまいります。 また、チャット機能を活用した問い合わせ対応『チャットポット』の導入を検討しており、市民からの質問に迅速に答えるとともに、詳細な情報が必要な場合はホームページに誘導することで、営業時間外も含め効率的な対応を図るなど、今後さらに当院の情報が取得しやすいようカスタマイズしていく予定です。</li> </ul> <p><b>2 市民公開講座</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎月1回、zoomでのオンライン市民公開講座を開催しておりますが、患者さんや市民の方々に興味を持っていただけるテーマを選定し、分かりやすい内容となるよう努めました。</li> </ul> <p><b>3 広報誌</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年2回広報誌「ふれあい」を発行し、新たな医療器械の導入なども含めた、病院の最新情報を発信することで、市民病院を選んでいただけるよう努めました。</li> </ul>				

取組内容

**4 患者満足度アンケート調査患者ご意見箱**

○ 院内に患者さんからのご意見をいただく意見箱を設置し、院内の業務改善や患者満足度の向上に努めました。

○ 外来患者満足度調査

令和6年度は、10月7日から10月11日の計5日間で実施いたしました。総合評価の計画値として85.5%を設定していましたが、実績は78.9%となり、達成度は92.3%となりました。具体的には、西館のトイレ等設備の老朽化に関するご意見が多数見受けられました。今後検討を進める西館再整備事業とも併せて施設の管理について対応を検討してまいります。

○ 入院患者満足度調査

令和6年度は、11月25日から1月27日の計2か月間で実施いたしました。総合評価の計画値として93.0%を設定していましたが、実績は91.8%となり、達成度は98.7%となりました。

**5 各種イベントの開催**

○ 開院記念行事やお仕事体験ツアーなど、市民の方々に当院を知っていただき、選んでいただけるよう、各種イベントを行いました。

- |  |     |
|--|-----|
| ・ 藤沢市民病院お仕事体験ツアーの実施                                  | 7月  |
| ・ 藤沢市民病院開院記念市民公開講座                                   | 10月 |
| ・ 藤沢市広報ラジオ番組「ハミングふじさわ」<br>における病院紹介コーナーでインタビュー<br>を放送 | 毎月  |

## 2 医師・看護師等医療スタッフの確保と働き方改革

### (1) 医師・看護師等医療スタッフの確保

医師・看護師等医療スタッフの確保		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	質の高い医療提供体制を確保するため、関係機関との連携強化に努めるとともに、勤務環境を整備することでそれぞれのライフスタイルに合わせた働き方を促進し、医療スタッフの確保に努めました。				

評価	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	1 大学医局との連携強化及び良好な関係の維持	A			
	2 積極的な学生実習の受入れ	A			
	3 特定看護師の育成と活用	A			
	4 勤務環境の整備	A			

取組内容	<p><b>1 大学医局との連携強化及び良好な関係の維持</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的に関連大学医局へ医師の派遣要請を行い、医師の確保に努めました。</li> </ul> <p><b>2 積極的な学生実習の受入れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病院見学者285人、学生実習214人の受入れを行い、人材の育成に寄与しました。</li> </ul> <p><b>3 特定看護師の育成と活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新たに2人が特定行為研修を修了し、計7名の特定看護師の活用により、病院機能の充実を図りました。</li> <li>○ 特定行為研修指定研修機関として、より医師とのタスクシフト・タスクシェアを図るため、令和7年度に特定行為区分として「透析管理関連」を開講できるよう準備を進めており、5月に開講予定です。</li> </ul> <p><b>4 勤務環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 仕事と家庭の両立が図られるよう、新たな勤務時間の設定や時間外勤務の制限・免除といった各制度の周知を行い、柔軟な働き方に対応いたしました。</li> </ul>
------	--

数値・指標	1 病院見学者	2 学生実習																												
	(単位:件)	(単位:人)																												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医学生</td> <td>279</td> </tr> <tr> <td>上記以外</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>		令和6年度	医学生	279	上記以外	6	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療部</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>放射線室</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>薬局</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>栄養室</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション室</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>臨床工学室</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>患者総合支援センター</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>医事課</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>214</td> </tr> </tbody> </table>		令和6年度	診療部	73	看護部	90	放射線室	5	薬局	12	栄養室	17	リハビリテーション室	3	臨床工学室	3	患者総合支援センター	10	医事課	1	合計	214
	令和6年度																													
医学生	279																													
上記以外	6																													
	令和6年度																													
診療部	73																													
看護部	90																													
放射線室	5																													
薬局	12																													
栄養室	17																													
リハビリテーション室	3																													
臨床工学室	3																													
患者総合支援センター	10																													
医事課	1																													
合計	214																													
	<p><b>3 特定行為研修修了者</b></p> <p>令和5年度以前特定行為研修修了者 2人</p> <p>令和6年度特定行為研修修了者 5人</p> <p>(特定行為8区分・11行為について研修を修了済)</p>																													

(2) 臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保

臨床研修医の受入れ等を通じた若手医師の確保		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	専門研修プログラムの下、人材育成・確保に努め、質の高い医療提供体制の確保に努めました。				

評価	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	1 初期臨床研修を修了した若手医師などを対象とした各種専門研修の実施	A			
	2 シミュレーションセンターの整備	終			
取組内容	<p><b>1 初期臨床研修を修了した若手医師などを対象とした各種専門研修の実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、4つの専門研修プログラムを実施しました。</li> </ul> <p><b>2 シミュレーションセンターの整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年度にシミュレーションセンターを開設し、各部門の研修実施等、円滑に運営しております。</li> </ul>				

(3) 医師・看護師等医療スタッフの働き方改革への対応

医師・看護師等医療スタッフの働き方改革への対応		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		B			
取組内容 (総括)	年休の取得促進や時間外勤務の削減に努め、勤怠管理システムを活用した適切な労務管理に努めるとともに、タスクシフト・タスクシェア及びチーム医療の推進を図りました。				

評価	項目				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	1 タスクシフトによる業務の見直しやチーム医療の推進	A			
	2 医師事務作業補助員等の配置強化に向けた採用形態と育成体制の構築	A			
	3 勤怠システムの適切な運用	B			
	4 勤務時間の検討	B			
	5 勤務時間外業務の見直し	B			
取組内容	<p><b>1 タスクシフトによる業務の見直しやチーム医療の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 外来に医師事務作業補助者を13科に配置し、各種オーダーの代行入力や新患者さんの紹介状及び外来問診票の電子カルテへの入力業務等を行い、医師の業務負担を軽減しました。</li> <li>○ 各部門において、タスクシフトや業務効率化が望まれる項目を設定し、実現に向けて取組を進めております。取組状況については、働き方改革推進会議にて進捗の確認を行っております（例：手術室への薬剤師配置による抗菌薬適性使用チェック、看護師による点滴確保のための穿刺業務、患者さんへの交替勤務や複数主治医制の理解のための広報活動など）。</li> </ul> <p><b>2 医師事務作業補助員等の配置強化に向けた採用形態と育成体制の構築</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人員確保では、新卒採用に向けた専門学校への訪問、院内での医師事務作業補助者の説明会を実施しました。また、医師事務作業補助者の職制について、監督員、調整員、専門員、補助員の4つの職制に分類して育成体制を強化しました。</li> </ul> <p><b>3 勤怠システムの適切な運用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての部署で2024年（令和6年）10月より勤怠管理システムを導入しました。</li> </ul> <p><b>4 勤務時間の検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各部署ごとに新たに勤務時間を設定し、働き方改革に対応した勤務を可能としました。</li> </ul> <p><b>5 勤務時間外業務の見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ カンファレンス、院内委員会等の会議の勤務時間内の実施や患者、家族への病状説明を勤務時間内に行うなど業務の見直しを図りました。</li> </ul>				

### 3 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	新興感染症等への対応として、院内体制としてBCP（業務継続計画）の作成を進めるとともに、資機材の整備及び維持、人材育成に努めました。また、平時から地域の医療機関との連携強化を図りました。				

評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 BCP（業務継続計画）の見直し</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 医療機器や施設の整備等</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 地域の医療機関との連携</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 専門人材の確保及び育成</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 BCP（業務継続計画）の見直し	A				2 医療機器や施設の整備等	A				3 地域の医療機関との連携	A				4 専門人材の確保及び育成	A			
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																									
	1 BCP（業務継続計画）の見直し	A																												
	2 医療機器や施設の整備等	A																												
	3 地域の医療機関との連携	A																												
4 専門人材の確保及び育成	A																													
取組内容	<p><b>1 BCP（業務継続計画）の見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域住民が安心して治療を受けられる体制を確保することにより、患者の健康・生命を守るため、BCP（業務継続計画）及び災害対応マニュアルについて、令和7年度の完成を目指し、作成部会において議論を重ねました。また感染症流行時におけるBCP（業務継続計画）の作成を進め、2025年（令和7年）4月に完成予定です。</li> </ul> <p><b>2 医療機器や施設の整備等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染対策資機材の確保に努めるとともに、既に導入している感染症対策のための医療器械を安定的に使用できるように、定期的なメンテナンスを実施いたしました。</li> </ul> <p><b>3 地域の医療機関との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染対策向上加算1の施設基準に基づき、地域医療機関と定期的なカンファレンスや相互チェックを行い、感染拡大時に備えた取組を実施しております。</li> <li>○ 令和6年度の連携医療機関とのカンファレンスを6回実施いたしました。</li> </ul> <p><b>4 専門人材の確保及び育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染管理認定看護師養成課程の受講をはじめ、感染管理分野を強化するために専門人材の育成・養成に努めました。また、医療従事者の感染症に関する知識の向上を目的として、感染対策講習会等の院内研修を実施いたしました。</li> </ul>																													

## 4 施設・設備の最適化

### (1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制

(1) 施設・設備の適正管理と整備費の抑制		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	西館・救命救急センター等の老朽化に伴い、再整備について検討を進めるとともに、高度で質の高い医療の提供を継続するために、計画に基づき医療器械の更新を行いました。				

評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 西館・救命救急センター等の建替えに向けた取組</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 高額医療器械の更新計画に基づく購入</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 西館・救命救急センター等の建替えに向けた取組	A				2 高額医療器械の更新計画に基づく購入	A			
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度															
	1 西館・救命救急センター等の建替えに向けた取組	A																		
2 高額医療器械の更新計画に基づく購入	A																			
取組内容	<p><b>1 西館・救命救急センター等の建替えに向けた取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 藤沢市民病院西館等再整備 基本構想の策定 老朽化が著しい西館・救命救急センター等の再整備について検討を進め、現況を踏まえた整備手法を示した基本構想を策定しました。</li> </ul> <p><b>2 高額医療器械の更新計画に基づく購入</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高額医療器械については、保守・修理サービス対応が終了する時期を見極め、計画的に更新しました。</li> <li>○ 令和7年度には再整備事業における基本計画の策定に合わせて、医療器械の更新計画を策定する予定です。</li> </ul>																			
数値・指標	<p><b>1 令和6年度の資産購入状況（2,000万円以上）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血管造影検査用X線撮影システム（循環器内科）</li> <li>・ 人工心肺装置（心臓血管外科）</li> <li>・ 三次元画像処理装置（放射線室）</li> <li>・ 高圧蒸気滅菌装置（3号機）（中央滅菌材料室）</li> <li>・ 分娩監視装置（5C病棟他）</li> <li>・ 空調機器</li> <li>・ 電子カルテ用クライアント端末等</li> <li>・ 電子カルテ用サーバ機器等</li> <li>・ 電子カルテ用モノクロプリンタ機器</li> </ul>																			

(2) デジタル化への対応

(2) デジタル化への対応		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	生産年齢人口の減少に伴い、医療スタッフの確保も困難になることから、DXの推進に伴う業務効率化は必要不可欠であり、当院においても医療の質の向上のほか、医療安全や情報セキュリティ、業務の効率化等の様々な側面からデジタル化への対応を検討しました。				

評価	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> <th>令和8年度</th> <th>令和9年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 電子カルテシステムの更新に向けた取組</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 各種システムの導入・更新に向けた取組</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進</td> <td>B</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 情報セキュリティ対策の推進</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	1 電子カルテシステムの更新に向けた取組	A				2 各種システムの導入・更新に向けた取組	A				3 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	B				4 情報セキュリティ対策の推進	A			
	項目	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度																									
	1 電子カルテシステムの更新に向けた取組	A																												
	2 各種システムの導入・更新に向けた取組	A																												
	3 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進	B																												
4 情報セキュリティ対策の推進	A																													
取組内容	<p><b>1 電子カルテシステムの更新に向けた取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の電子カルテのソフトウェアの更新を見据えて、電子カルテ、医事会計システムのハードウェアに加え、電子カルテシステムサーバ及び端末を更新するとともに、連携する部門システムの改修等を行いました。</li> </ul> <p><b>2 各種システムの導入・更新に向けた取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入院時の手続きや各種検査方法等の説明業務における効率化を図るため、またペーパーレスやカルテへの登録作業の効率化を図るため、説明動画ツールと電子問診票を、令和7年度に導入予定です。</li> </ul> <p><b>3 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ AIを搭載したシステムやスマートフォン、オンライン予約システム等、様々なシステムについて検討を進めております。</li> </ul> <p><b>4 情報セキュリティ対策の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>二要素認証の導入</u> 厚生労働省が発表した「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に基づき二要素認証を導入しました。二要素認証とは「記憶」「生体計測」「物理媒体」のうち2つの独立した要素を組み合わせることで認証を行う方式です。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① ID・パスワードの組合せ等の利用者の「記憶」</li> <li>② 指紋や静脈など利用者の生体的特徴の「生体計測」（バイオメトリクス）</li> <li>③ ICカードなどの「物理媒体」（セキュリティ・デバイス）</li> </ul>           当院では①と③を組み合わせた認証方式を導入しました。         </li> </ul>																													

## 5 経営の効率化等

### (1) 目標達成に向けた具体的な取組

ア 費用の縮減		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	経営戦略会議内に、多職種（医師、看護師、事務員等）からなる短期プロジェクトを立ち上げて委託料の削減を検討するとともに、業務の効率化や費用の縮減に努めました。				

取組内容	<p><b>1 委託料の削減及び仕様の見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合管理業務において、前年度から約5,900万円費用を削減しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 清掃業務において、他院の状況も調査した上で当院の配置人数や配置時間・回数等の見直しを行い、前年度から約4,900万円費用を削減しました。</li> <li>・ 警備業務について仕様の見直しを行い、前年度から約1,000万円費用を削減しました。</li> </ul> </li> <li>○ 物品管理業務と中央滅菌材料室及び手術室機械類洗浄等業務を一つにまとめることで費用の削減を図り、約1,500万円削減しました。また、同一の業者が業務にあたることで業務の効率化を図りました。</li> </ul> <p><b>2 賃借料の削減</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職員寮の入居率の減少に伴い、一部寮の解約を行うことで前年度から約1,500万円費用を削減しました。</li> </ul> <p><b>3 その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ペーパーレスによる会議を推進し、紙の使用量の縮減に努めました。</li> <li>○ 同一の宛先の郵便物をまとめて送付するなど、郵便料の縮減に努めました。</li> </ul>				
------	--	--	--	--	--

イ 組織改正及び定数の見直し		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		A			
取組内容 (総括)	救急医療とがん医療の充実を図りつつ、働き方改革を推進するため、定数の見直しを行いました。				

取組内容	<p><b>1 定数の見直し</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 診療部において、医師の定数を8人増員し、医療技術部においては、周術期における薬学的管理を行うため薬剤師を1人、救急領域でのリハビリテーションの充実のため理学療法士を1人増員しました。</li> </ul> <p><b>2 リハビリテーション室の計画的な人員採用について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ リハビリテーション室において、土日にリハビリを行うことができる体制を構築するための人員について、計画的に採用を行う方針です。</li> </ul>				
------	---	--	--	--	--

ウ 診療報酬の確保	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	A			
取組内容 (総括)	診療報酬の管理体制について検討するプロジェクトを立ちあげ、診療報酬の確保に努めました。また、医事課と各診療科とによる診療報酬をテーマとしたカンファレンスを定期的に行い、DPCコーディングやレセプト査定に関する検討を行うようにいたしました。			

取組内容	<p><b>1 令和6年度診療報酬改定への対応（主な新規届出項目）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療DX推進体制整備加算（2024年（令和6年）6月～）</li> <li>・ 救急患者連携搬送料（2025年（令和7年）1月～）</li> <li>・ ベースアップ評価料（2025年（令和7年）1月～） 等</li> </ul> <p><b>2 診療報酬管理体制検討プロジェクトによる検討内容・取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施設基準自主点検の実施</li> <li>・ 各加算の算定件数増に向けた対策の実施</li> <li>・ 正確なDPCコーディングのための診療科定期カンファレンスの実施</li> <li>・ 診療材料（保険償還材料）に関わる算定状況チェックの実施</li> <li>・ 各部門システムと医事会計マスタのチェック体制の構築</li> </ul> <p><b>3 各部門に関連する加算等の算定件数確保に向けた取組</b></p>
------	---

数値・指標	<p><b>1 診療報酬管理体制検討プロジェクトによる検討内容・取組</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救急医療管理加算の延算定件数 <span style="float:right">(単位:点)</span></li> </ul> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>対前年 増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急医療管理加算</td> <td>23,241</td> <td>27,226</td> <td>36,092</td> <td>8,866</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>2 患者1人1日あたりDPC包括点数</b> <span style="float:right">(単位:点)</span></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>対前年 増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者1人1日あたりDPC包括点数</td> <td>2,518</td> <td>2,521</td> <td>2,575</td> <td>54</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 取組の結果増加した主な加算等の延算定件数</b> <span style="float:right">(単位:件)</span></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>対前年 増減数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認知症ケア加算1</td> <td>4,465</td> <td>4,187</td> <td>5,178</td> <td>991</td> </tr> <tr> <td>せん妄ハイリスク患者ケア加算</td> <td>3,000</td> <td>3,327</td> <td>5,237</td> <td>1,910</td> </tr> <tr> <td>薬剤管理指導料</td> <td>11,766</td> <td>12,446</td> <td>13,804</td> <td>1,358</td> </tr> <tr> <td>入退院支援加算1</td> <td>8,891</td> <td>10,973</td> <td>12,102</td> <td>1,129</td> </tr> <tr> <td>入院栄養食事指導料1</td> <td>1,521</td> <td>1,492</td> <td>1,726</td> <td>234</td> </tr> </tbody> </table>		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数	救急医療管理加算	23,241	27,226	36,092	8,866		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数	患者1人1日あたりDPC包括点数	2,518	2,521	2,575	54		令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数	認知症ケア加算1	4,465	4,187	5,178	991	せん妄ハイリスク患者ケア加算	3,000	3,327	5,237	1,910	薬剤管理指導料	11,766	12,446	13,804	1,358	入退院支援加算1	8,891	10,973	12,102	1,129	入院栄養食事指導料1	1,521	1,492	1,726	234
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数																																															
救急医療管理加算	23,241	27,226	36,092	8,866																																															
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数																																															
患者1人1日あたりDPC包括点数	2,518	2,521	2,575	54																																															
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数																																															
認知症ケア加算1	4,465	4,187	5,178	991																																															
せん妄ハイリスク患者ケア加算	3,000	3,327	5,237	1,910																																															
薬剤管理指導料	11,766	12,446	13,804	1,358																																															
入退院支援加算1	8,891	10,973	12,102	1,129																																															
入院栄養食事指導料1	1,521	1,492	1,726	234																																															

## 資料2

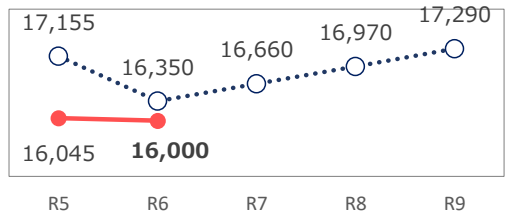
## 数値目標の達成状況

### ※ KPI 指標

#### (1) 新入院患者数

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	17,155	16,350	16,660	16,970	17,290	-
実績	16,045	16,000				▲ 45 (99.7%)
対計画比 評価		97.9% b				



#### 【取組内容等】

新入院患者数については、実績は16,000人となり、計画値を350人（2.1%）下回りました。前年度と比較すると、ほぼ同水準となりました。

2024年（令和6年）9月に血管撮影装置の更新に伴い、主に循環器内科において約3週間予定検査を制限しており、新入院患者が伸び悩んだ一因でもあります。

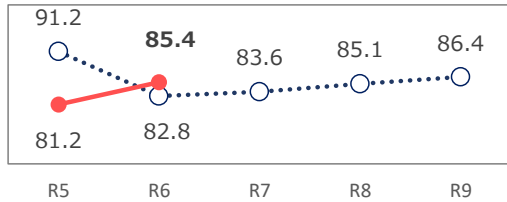
#### 【今後の取組や課題等】

新入院患者の獲得のため、引き続き紹介・逆紹介の推進や救急患者の受入れについて推進する必要があります。

#### (2) 病床稼働率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	91.2	82.8	83.6	85.1	86.4	
実績	81.2	85.4				4.2pt
対計画比 評価		103.1% a				



#### 【取組内容等】

病床稼働率については、実績は85.4%となり、計画値に対して2.6ポイント上回り、前年度と比較しても4.2ポイント改善しました。

2025年（令和7年）3月には一部一般病棟の再編成（主診療科の再編成）を行い、患者の病状やニーズに合わせて適切な医療ができるよう努めました。

また、患者ごとのDPC入院期間を見える化し、期間Ⅱ以内を意識した病床管理や救急病棟から一般病棟への転棟する際に、よりスムーズに行えるよう運用見直し等を行いました。

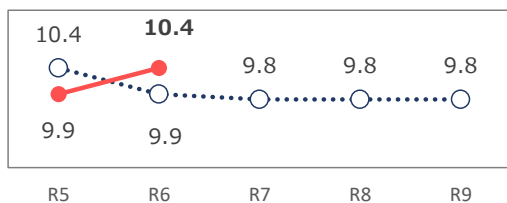
#### 【今後の取組や課題等】

院内全体に日々の病床稼働状況の見える化を図るなど、院内全体の意識の醸成を高めていくことや新規患者の確保及びDPC入院期間を意識した病床管理を継続していくことが必要です。

#### (3) 平均在院日数

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	10.4	9.9	9.8	9.8	9.8	
実績	9.9	10.4				0.5pt
対計画比 評価		95.2% b				



#### 【取組内容等】

平均在院日数については、実績は10.4日となり、計画値・前年度実績に対してともに0.5日上回りました。

DPCにおける入院期間Ⅱ以内を意識して病床管理を行っていますが、患者の高齢化や重症度、短期滞在手術の外来実施などにより、在院日数は前年度から延びています。

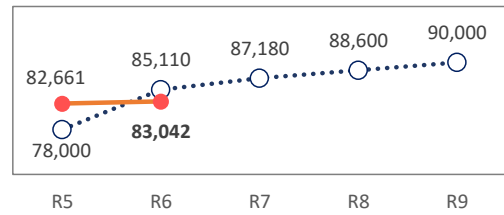
#### 【課題や今後の取組等】

誤嚥性肺炎など高齢者に多い疾患や複雑な疾患の増加等から在院日数の長期化も予測されることからDPC入院期間を意識した在院日数管理に努め、クリニカルパスの推進、管理を進めるとともに後方医療機関との転院調整がスムーズに行えるよう、院内外の連携を強化してまいります。

(4) 入院患者1人1日当たり診療収入

(単位：円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	78,000	85,110	87,180	88,600	90,000	381 (100.5%)
実績	82,661	83,042				
対計画比 評価		97.6% b				



【取組内容等】

令和6年度の診療改定に伴う「ベースアップ評価料」の届出や循環器内科医師におけるアブレーション件数の増加、より精度の高いDPCコーディングを行うため診療科と医事課との密な連携、各加算の適切な算定に向けた対策等を行いました。計画値に対して2,068円(2.4%)下回りましたが、前年度と比較して381円増加しました。

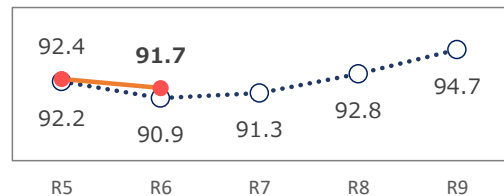
【今後の取組や課題等】

診療報酬を適切に算定するとともに、救急患者や手術適用の患者の確保及び最新治療の導入の検討を進めていく必要があります。

(5) 修正医業収支比率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	92.2	90.9	91.3	92.8	94.7	▲ 0.7pt
実績	92.4	91.7				
対計画比 評価		100.9% a				



【取組内容等】

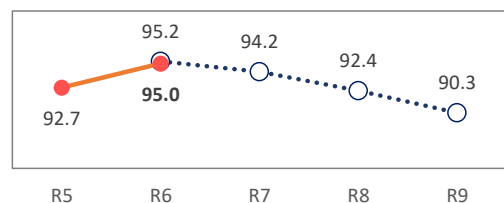
(『2 収支計画に対する決算の状況について』(P.3) 参照)

【今後の取組や課題等】

(6) 修正給与費等負荷率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画		95.2	94.2	92.4	90.3	2.3pt
実績	92.7	95.0				
対計画比 評価		100.2% a				



$$\text{※給与費等負荷率} = (\text{給与費} + \text{委託料}) / (\text{医業収益} - \text{材料費}) \times 100$$

【取組内容等】

修正給与費等負荷率は95.0%となり、計画値とほぼ同率となりました。一方で、(医業収益-材料費)は前年度と比較して3.2%増加しましたが、(給与費+委託料)は5.8%増加したため、前年度と比較すると2.3ポイント悪化しました。

【今後の取組や課題等】

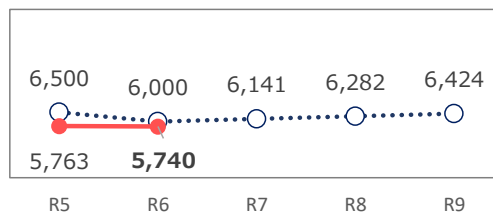
令和7年度も引き続き人件費や原材料価格の高騰は継続するため、給与費、委託料、材料費は増加する見込みです。そのため、収益確保の取組に加えて、費用(給与費及び委託料)の見直しが必要と考えます。

# 1 医療機能に係るもの

## (1) 手術件数

(単位：件)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	6,500	6,000	6,141	6,282	6,424	▲ 23 (99.6%)
実績	5,763	5,740				
対計画比 評価		95.7% b				



### 【取組内容等】

手術件数については、年間5,740件となり、計画値を260件（4.3%）下回りましたが、前年度と比較するとほぼ同水準となりました。  
令和6年度は手術件数や医師数等を考慮しながら手術枠の見直しを行い、手術待ち患者数の減少に加え、手術室の稼働率を向上及び効率的な手術の実施に努めました。

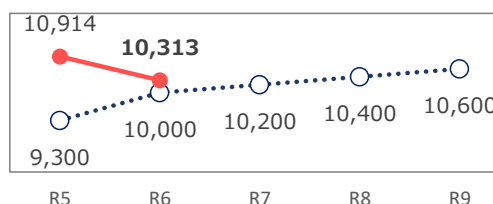
### 【今後の取組や課題等】

手術件数の増加に伴い、麻酔科医等の医療職の確保やより効率的な手術室の運営体制の検討を進めてまいります。

## (2) 救急車搬送受入患者数

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	9,300	10,000	10,200	10,400	10,600	▲ 601 (94.5%)
実績	10,914	10,313				
対計画比 評価		103.1% a				



### 【取組内容等】

救急車搬送受入患者数については、年間10,313件となり、計画値を310件（3%）下回り、前年度と比較すると601件（5.5%）の減となりました。

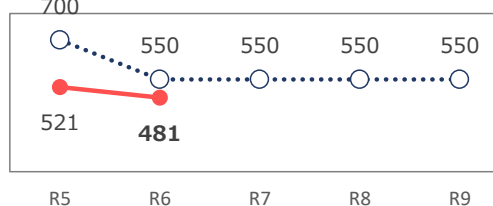
### 【今後の取組や課題等】

消防との定期的なカンファレンス等連携強化を進めてまいります。

## (3) 分娩件数

(単位：件)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	700	550	550	550	550	▲ 40 (92.3%)
実績	521	481				
対計画比 評価		87.5% b				



### 【取組内容等】

分娩件数については、年間481件で、計画値と比較して69件（12.5%）の減となり、前年度と比較しても、40件（7.7%）の減となりました。  
年々分娩件数は減少しており、周産期医療の確保のため、無痛分娩の導入や妊産婦に対するアメニティの見直しについて検討を進めております。

### 【今後の取組や課題等】

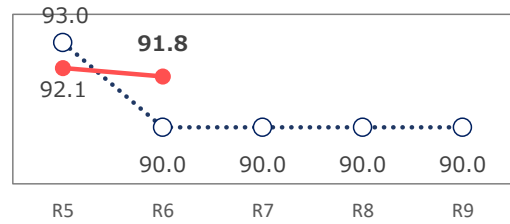
安全な無痛分娩の実施体制の検討及びお祝い膳等サービス面の見直しを検討するとともに、情報発信強化を進めてまいります。

## 2 医療の質に係るもの

### (1) 入院患者満足度総合評価

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	93.0	90.0	90.0	90.0	90.0	▲ 0.3pt
実績	92.1	91.8				
対計画比 評価		102.0%				
		a				



#### 【取組内容等】

入院患者満足度調査については、2024年（令和6年）11月25日から2025年（令和7年）1月27日の計2か月間で実施いたしました。

令和6年度は、総合評価の計画値として90.0%を設定しておりましたが、実績は91.8%となり、達成度は102.0%となりました。

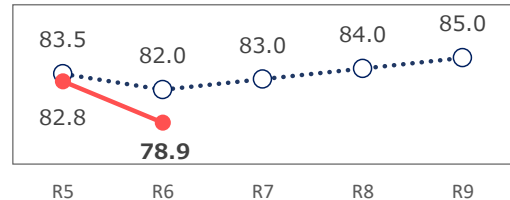
#### 【今後の取組や課題等】

総合評価で「おおむね満足以上」は91.8%と高い評価をいただきましたが、一方で設備面、接遇、入院生活等に關していただいたご意見について、真摯に受け止め、改善を図ってまいります。

### (2) 外来患者満足度総合評価

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	83.5	82.0	83.0	84.0	85.0	▲ 3.9pt
実績	82.8	78.9				
対計画比 評価		96.2%				
		b				



#### 【取組内容等】

外来患者満足度調査については、2024年（令和6年）10月7日から10月11日の計5日間で実施いたしました。令和6年度は、総合評価の計画値として82.0%を設定しておりましたが、実績は78.9%となり、達成度は96.2%となりました。

#### 【今後の取組や課題等】

診療予約の取りやすさ、待ち時間対策に資するシステムの導入を視野に利便性の向上を図ってまいります。職員接遇面や設備面等のご意見について真摯に受止め、適宜改善を図ってまいります。

### (3) DPC特定病院群の「設定要件」充足項目数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画		-	8/8	-	8/8	
実績	8/8	-		-		
対計画比 評価						

#### 【取組内容等】

診療報酬改定は基本的に2年ごとに行われ、DPC（診断群分類包括評価）制度における特定病院群の指定も、この診療報酬改定に合わせて見直されます。

前回の改定は2024年（令和6年）3月上旬に告示・通知が示されたことから、2022年～2023年（令和4～5年度）の実績評価としましたので、次回の点検評価は2025年（令和7年度）となります。

#### 【今後の取組や課題等】

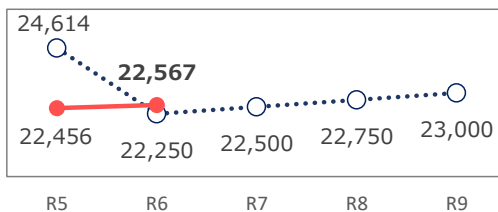
DPC病院群の設定要件に関わる実績を定期的にモニタリングし、特定病院群指定を持出来るように努めてまいります。

### 3 連携の強化等に係る数値目標

#### (1) 紹介患者数

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	24,614	22,250	22,500	22,750	23,000	111 (100.5%)
実績	22,456	22,567				
対計画比 評価		101.4%				



#### 【取組内容等】

紹介件数は、計画値に対して317件（1.4%）上回りましたが、前年度と比較して、111件の減少しました。近年の傾向としては、救急受診時に伴う紹介件数は増加し、各専門診療科への紹介数は横ばい、検査共同利用の件数は減少傾向になっております。

※コロナ禍以前との紹介件数差

(単位：件)

	令和元年度	令和6年度	増減数
救急受診	3,462	3,831	369
専門診療科受診	17,373	17,430	57
検査共同利用	1,905	1,306	▲599

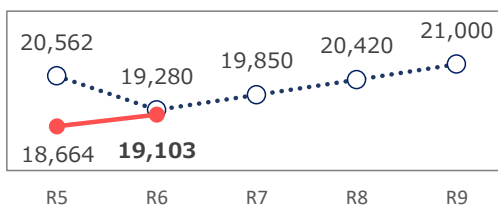
#### 【今後の取組や課題等】

地域医療機関への訪問活動を継続的に行う体制の整備やオンライン予約等の導入による診療予約が取りやすい運用の整備を検討してまいります。

#### (2) 逆紹介患者数

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	20,562	19,280	19,850	20,420	21,000	439 (102.4%)
実績	18,664	19,103				
対計画比 評価		99.1%				



#### 【取組内容等】

逆紹介件数について、計画値に対して177件（0.9%）下回りましたが、前年度と比較して、439件増加しました。逆紹介時の診療情報提供書作成にあたり医師事務作業補助者による作成支援を行うなど、効率化を進めております。各診療科ごとに患者さんの治療状況に応じた適切な時期の逆紹介に努めております。

#### 【今後の取組や課題等】

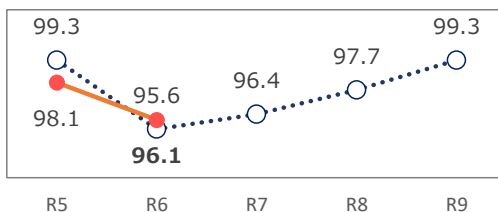
紹介を受けた医療機関に対して、診療の経過報告、当院治療後の継続診療の依頼を適切に推進してまいります。

### 4 収支改善に係るもの

#### (1) 経常収支比率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	99.3	95.6	96.4	97.7	99.3	▲2.0pt
実績	98.1	96.1				
対計画比 評価		100.5%				



【指標：経常収益/経常費用×100】

#### 【取組内容等】

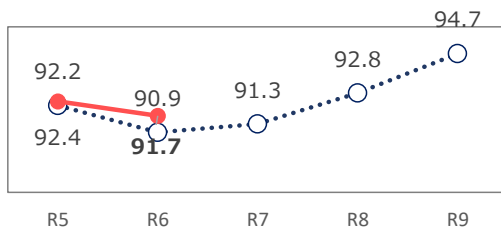
（『2 収支計画に対する決算の状況について』（P.3）参照）

#### 【今後の取組や課題等】

(2) 修正医業収支比率（再掲）

（単位：％）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	92.2	90.9	91.3	92.8	94.7	▲ 0.7pt
実績	92.4	91.7				
対計画比		100.9%				
評価		a				



【取組内容等】

（『2 収支計画に対する決算の状況について』（P.3）参照）

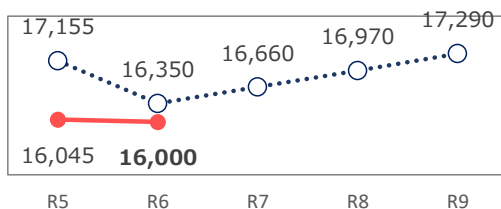
【今後の取組や課題等】

5 収入確保に係るもの

(1) 新入院患者数（再掲）

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	17,155	16,350	16,660	16,970	17,290	▲ 45 (99.7%)
実績	16,045	16,000				
対計画比		97.9%				
評価		b				



【取組内容等】

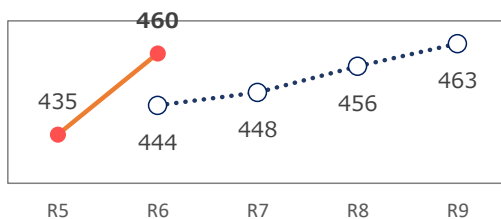
（資料 2 『数値目標の達成状況』（P.29）参照）

【今後の取組や課題等】

(2) 1日あたり入院患者数

（単位：人）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画		444	448	456	463	25 (105.7%)
実績	435	460				
対計画比		103.6%				
評価		a				



【取組内容等】

1日あたり入院患者数は、計画に対して16人（3.6％）上回りました。新規患者さん確保に向けた連携活動やDPC期間を意識した在院管理等の取組により、前年度と比較しても25人（5.7％）増加しております。

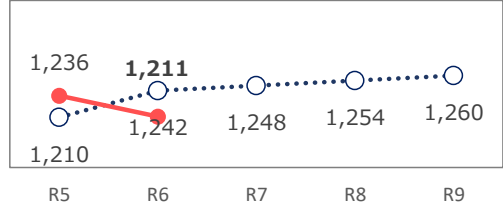
【今後の取組や課題等】

新入院患者の確保に努めるとともにDPC期間を意識した在院管理に努めてまいります。

**(3) 1日当たり外来患者数**

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	1,210	1,242	1,248	1,254	1,260	▲ 25 (98.0%)
実績	1,236	1,211				
対計画比 評価		97.5% b				



**【取組内容等】**

1日当たり外来患者数は、計画値を31人（2.5%）下回り、前年度と比較しても25人減少しました。また初診患者は、前年度と比較して1,718人減少しました。

(単位：人)

	令和5年度	令和6年度	対前年 増減数
外来初診患者数	32,413	30,695	▲ 1,718

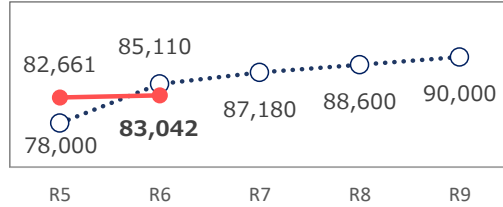
**【今後の取組や課題等】**

新規患者さんの確保に向けて、診療予約をスムーズに受ける体制作り、各医療機関訪問等による連携強化などを進めてまいります。

**(4) 入院患者1人1日当たり診療収入（再掲）**

(単位：円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	78,000	85,110	87,180	88,600	90,000	381 (100.5%)
実績	82,661	83,042				
対計画比 評価		97.6% b				



**【取組内容等】**

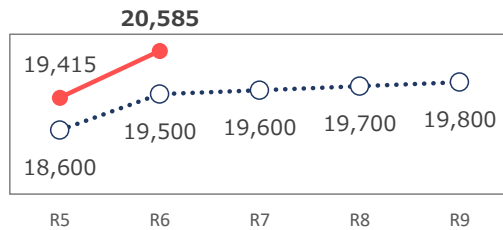
(資料2『数値目標の達成状況』(P.30)参照)

**【今後の取組や課題等】**

**(5) 外来患者1人1日当たり診療収入**

(単位：円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	18,600	19,500	19,600	19,700	19,800	1,170 (106.0%)
実績	19,415	20,585				
対計画比 評価		105.6% a				



**【取組内容等】**

外来患者1人1日当たり診療収入は、計画値を1,085円（5.6%）上回りました。外来化学療法や放射線治療、画像診断検査等の増加により、前年度と比較して1,170円（6.0%）増加しております。また、がん患者さんに対する指導など、各加算について算定状況の解析や運用調整を図り適切な算定に努めました。

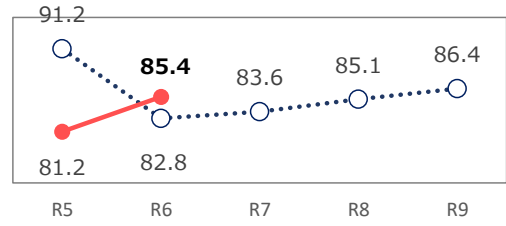
**【今後の取組や課題等】**

新規患者さんの確保対策を進め、今後も高額な薬剤や検査等の保険収載に伴い1日あたりの診療収入の増加が見込まれることから、適切な診療報酬の算定に努めてまいります。

(6) 病床稼働率 (再掲)

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	91.2	82.8	83.6	85.1	86.4	4.2pt
実績	81.2	85.4				
対計画比		103.1%				
評価		a				



【取組内容等】

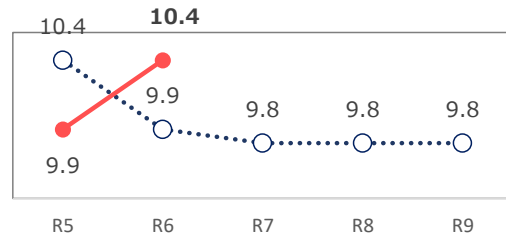
(資料2『数値目標の達成状況』(P.29)参照)

【今後の取組や課題等】

(7) 平均在院日数 (再掲)

(単位：日)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	10.4	9.9	9.8	9.8	9.8	0.5pt
実績	9.9	10.4				
対計画比		95.2%				
評価		b				



【取組内容等】

(資料2『数値目標の達成状況』(P.29)参照)

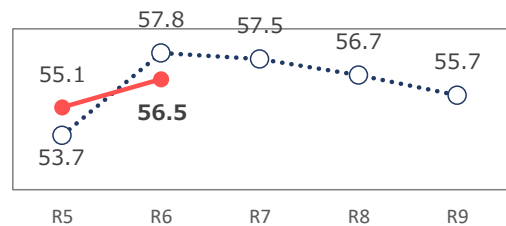
【今後の取組や課題等】

6 経費削減に係るもの

(1) 職員給与費対医業収益比率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	53.7	57.8	57.5	56.7	55.7	1.4pt
実績	55.1	56.5				
対計画比		102.3%				
評価		a				



【取組内容等】

職員給与費対医業収益比率は、前年度と比較すると、給与費・材料費の増が医療収益の増を上回るため、1.4ポイント悪化する見込みです。計画値に対して医業収益が約2億7,000万円(1.3%)増加したことに加えて、給与費が約1億1,000万円(1.0%)減少したため、1.3ポイント改善しました。

○職員給与費の主な増減(実績ベース)

	令和5年度	令和6年度	(単位：百万円)
給料	3,628	3,819	191
手当	3,783	4,107	324
報酬	296	985	689
法定福利費	1,425	1,443	18

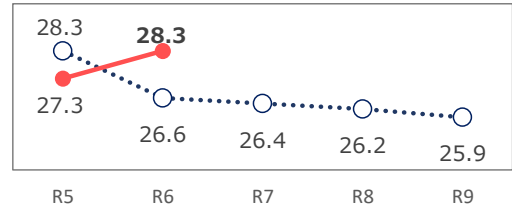
【今後の取組や課題等】

令和7年度も人事院勧告に基づく給与改定に加え、二交代制や働き方改革の促進に伴い給与費の増加が見込まれます。診療報酬改定に対応し、収益確保及び費用削減の強化が必要です。

(2) 材料費対医業収益比率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	28.3	26.6	26.4	26.2	25.9	1.0pt
実績	27.3	28.3				
対計画比 評価		94.0%				



【取組内容等】

材料費対医業収益比率は、計画値に対し医業収益が1.3%増加しましたが、物価高騰や抗がん剤の高額化等により材料費が4億1,600万円（7.8%）増加したため、計画値から1.7ポイント悪化しました。

○材料費の主な増減（実績ベース）

	令和5年度	令和6年度	増減額	(単位：百万円)
診療材料費	2,142	2,262	120	
薬品費	3,003	3,333	330	

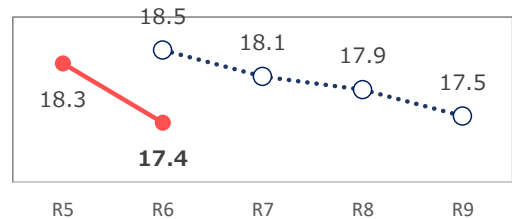
【今後の取組や課題等】

原材料や物価高騰は令和7年度以降も継続する見込みです。物品管理システムを活用して保険請求の漏れ防止や適切な在庫管理を推進し、費用削減に努めます。

(3) 経費対医業収益比率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画		18.5	18.1	17.9	17.5	▲ 0.9pt
実績	18.3	17.4				
対計画比 評価		106.3%				



【取組内容等】

経費対医業収益比率は、計画値に対し医業収益が1.3%増加したことに加えて、修繕費や委託料等が計画値を大きく下回ったため、経費は1億7,000万円（4.7%）減少し、計画値から1.1ポイント改善しました。

○経費の主な増減（実績ベース）

	令和5年度	令和6年度	増減額	(単位：百万円)
光熱水費	451	500	49	
厚生福利費	36	2	▲ 34	
修繕費	152	123	▲ 29	

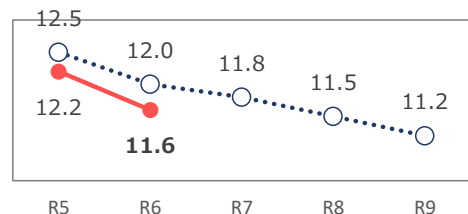
【今後の取組や課題等】

エネルギー価格や原材料の高騰は令和7年度も継続する見込みです。西館をはじめ建物の老朽化に伴い、今後修繕費の増加が見込まれます。

(4) 委託費対医業収益比率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	12.5	12.0	11.8	11.5	11.2	▲ 0.6pt
実績	12.2	11.6				
対計画比 評価		103.4%				



【取組内容等】

委託費対医業収益比率は、計画値に対し医業収益が1.3%増加したことに加えて、主に清掃業務委託の仕様見直しにより計画値を大きく下回ったため、委託料は4,600万円（1.9%）減少し、計画値から0.4ポイント改善しました。

○経費の主な増減（実績ベース）

	令和5年度	令和6年度	増減額	(単位：百万円)
総合管理業務委託	542	483	▲ 59	

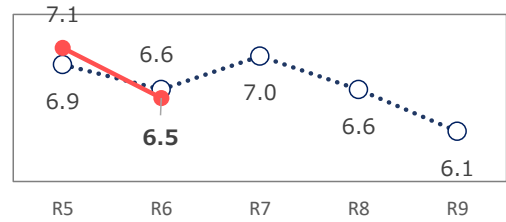
【今後の取組や課題等】

令和6年度において、最低賃金は過去最大の上げ幅となり、神奈川県では50円の上昇となりました。令和7年度は費用の増加が見込まれるため、仕様書の見直しを今まで以上に取り組む必要があります。

(5) 減価償却費対医業収益比率

(単位：%)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	6.9	6.6	7.0	6.6	6.1	▲ 0.6pt
実績	7.1	6.5				
対計画比 評価		101.5%				
		a				



【取組内容等】

減価償却費対医業収益比率は、計画値に対し医業収益が1.3%増加したことに加えて、主にリース契約満了に伴い、減価償却費が470万円（0.4%）減少したため、計画値から0.1ポイント改善しました。

○減価償却費の主な増減（実績ベース）

	令和5年度	令和6年度	増減額	(単位：百万円)
器械備品減価償却費	459	499	40	
リース資産減価償却費	159	96	▲ 63	

【今後の取組や課題等】

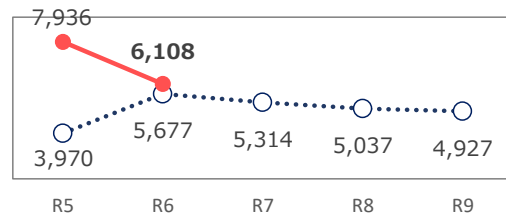
令和6年度において電子カルテシステムハードウェア更新や高額な医療器械の更新等を行ったことから減価償却費は令和7年度以降さらに増加する見込みです。そのため、計画的に医療器械等の更新を進めていく必要があります。

7 経営の安定性に係るもの

(1) 現金保有残高

(単位：百万円)

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	対前年増減 (比率)
計画	3,970	5,677	5,314	5,037	4,927	▲ 1,828 (77.0%)
実績	7,936	6,108				
対計画比 評価		107.6%				
		a				



【取組内容等】

現金保有残高は、計画値に対し4億3,100万円上回っておりますが、主に電子カルテシステムハードウェア更新等を行ったことにより、前年度と比較すると18億2,800万円減少しました。

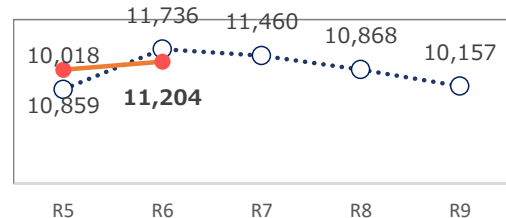
【今後の取組や課題等】

令和7年度以降も人件費や物価高騰等による材料費・経費が増加することや西館等再整備事業など大幅な現金支出が見込まれることから運転資金の確保を最優先に取り組んでいく必要があります。

(2) 企業債残高

(単位：百万円)

	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)	対前年増減 (比率)
計画	10,018	11,736	11,460	10,868	10,157	345 (103.2%)
実績	10,859	11,204				
対計画比 評価		104.7%				
		a				



【取組内容等】

企業債残高は、主に入札執行等に伴い、契約金額が大幅に減少したことにより計画に対し5億3,200万円下回りましたが、前年度と比較すると3億4,500万円増加しました。

【今後の取組や課題等】

令和7年度以降も引き続き医療器械等の更新があることから経営状況や資金状況など総合的に踏まえて、企業債の借入を行っていく必要があります。